



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年1月28日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 加地テック
コード番号 6391 URL <http://www.kaiitech.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 士郎
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 新井 光司

TEL 072-361-0881

四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	3,933	16.0	251	85.4	255	81.3	180	—
22年3月期第3四半期	3,391	△38.3	135	△82.7	141	△82.7	△51	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	10.65	—
22年3月期第3四半期	△3.03	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	7,847	5,124	65.3	302.77
22年3月期	7,388	5,023	68.0	296.79

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 5,124百万円 22年3月期 5,023百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	—	—	4.00	4.00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,000	△2.6	360	△40.5	360	△41.0	230	6.4	13.59

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期3Q 17,180,000株 22年3月期 17,180,000株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 254,420株 22年3月期 252,765株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期3Q 16,926,604株 22年3月期3Q 16,929,536株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出しており、実際の業績は今後様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
【第3四半期累計期間】	7
【第3四半期会計期間】	8
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
4. 補足情報	12
生産、受注及び販売の状況	12

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当社第3四半期累計期間における世界経済は、減速が続いているものの一部に持ち直しの兆しがみられます。米国では、雇用環境の改善など課題はありますが、株高などを背景に個人消費は底堅く推移しています。中国では、GDP成長率は鈍化し、インフレの懸念もありますが、設備・不動産等への投資が伸びるなど総じて景気は上向きつつあります。

日本経済は、円高の進行に伴う輸出の低迷、駆け込み需要の反動による個人消費の落ち込みなどを受け停滞局面の中にあります。製造業の機械受注の状況については、設備投資が企業収益の改善を背景に増加していること、また中国を中心とした海外受注が持ち直しているなど、回復の兆しを見せていますが、それらの回復は緩やかなものとなっています。

このような環境下、当第3四半期累計期間の売上高は、ペットボトルブロー成形用圧縮機、六フッ化硫黄ガス回収用圧縮機等の売上が伸びたことなどから、前年同期比16.0%増の3,933百万円となりました。売上総利益は、競争激化による高採算案件の減少や円高による輸出案件の採算悪化などから、前年同期比1.2%増の893百万円となりました。営業利益は、経費削減により前年同期比85.4%増の251百万円となりました。経常利益は、上記を受け前年同期比81.3%増の255百万円となりました。四半期純利益は、特別利益として貸倒引当金戻入額26百万円、及び投資有価証券売却益24百万円を計上したこともあり、前年同期と比べ231百万円増の180百万円となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、純資産の状況

当第3四半期会計期間末の総資産は7,847百万円で前事業年度末に比べ458百万円増加しました。この主な要因は、売掛金の減少733百万円があったものの、仕掛品の増加422百万円、及び預け金の増加700百万円があったことによります。

当第3四半期会計期間末の負債は2,722百万円で前事業年度末に比べ357百万円増加しました。この主な要因は、支払手形の増加223百万円、及び設備関係支払手形の増加99百万円があったことによります。

当第3四半期会計期間末の純資産は5,124百万円で前事業年度末に比べ100百万円増加しました。この主な要因は、配当金の支払い67百万円があったものの、四半期純利益が180百万円となったことによります。

以上の結果、自己資本比率は65.3%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物は、2,294百万円で、前事業年度末に比べ667百万円の増加となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は786百万円であります(前年同期比2,378百万円増加)。この増加は主に、たな卸資産の増加額427百万円があったものの、税引前四半期純利益307百万円、及び売上債権の減少額819百万円によります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は44百万円であります(前年同期比352百万円減少)。この減少は主に、投資有価証券の売却による収入84百万円があったものの、定期預金の預入による支出85百万円、及び有形固定資産の取得による支出45百万円によります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は74百万円であります(前年同期比79百万円増加)。この減少は主に配当金の支払額67百万円によります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の業績見通しにつきましては、平成22年10月21日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

業績予想を見直す必要が生じた場合は適時に開示いたします。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. 簡便な会計処理

①棚卸資産の評価方法

当第3四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前事業年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額を計上する方法等によっております。

④繰延税金資産および繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので前事業年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

2. 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

①税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

1. 会計処理基準に関する事項の変更

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

この変更による影響はありません。

2. 表示方法の変更

(四半期貸借対照表関係)

前第3四半期会計期間において、流動負債の「支払手形」に含めて表示しておりました「設備関係支払手形」は、負債及び純資産の合計額の100分の1を超えたため、当第3四半期会計期間より区分掲記することとしました。なお、前第3四半期会計期間の流動負債の「支払手形」に含まれる「設備関係支払手形」は6,672千円であります。

(四半期損益計算書関係)

前第3四半期会計期間において、営業外費用の「その他」に含めて表示しておりました「固定資産除却損」は、営業外費用総額の100分の20を超えたため、当第3四半期会計期間より区分掲記することとしました。なお、前第3四半期会計期間の営業外費用の「その他」に含まれる「固定資産除却損」は110千円であります。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	479,709	427,303
受取手形	394,791	360,202
売掛金	1,381,654	2,115,219
製品	36,606	58,136
仕掛品	1,830,390	1,408,201
原材料及び貯蔵品	314,663	287,968
預け金	1,900,000	1,200,000
その他	267,168	279,038
貸倒引当金	△24,500	△43,000
流動資産合計	6,580,482	6,093,070
固定資産		
有形固定資産	901,063	846,872
無形固定資産	11,482	13,283
投資その他の資産		
その他	463,935	553,407
貸倒引当金	△109,722	△118,080
投資その他の資産合計	354,213	435,326
固定資産合計	1,266,759	1,295,482
資産合計	7,847,242	7,388,552
負債の部		
流動負債		
支払手形	862,759	643,774
買掛金	299,897	280,778
短期借入金	220,000	205,000
未払法人税等	24,805	—
賞与引当金	72,684	146,198
受注損失引当金	65,500	34,800
設備関係支払手形	104,352	—
その他	512,259	492,967
流動負債合計	2,162,259	1,803,517
固定負債		
退職給付引当金	486,155	457,448
役員退職慰労引当金	36,812	44,027
その他	37,382	59,675
固定負債合計	560,350	561,150
負債合計	2,722,609	2,364,668

(単位:千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,440,000	1,440,000
資本剰余金	1,203,008	1,203,008
利益剰余金	2,518,818	2,406,337
自己株式	△42,666	△42,393
株主資本合計	5,119,160	5,006,952
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,339	18,631
繰延ヘッジ損益	3,132	△1,699
評価・換算差額等合計	5,471	16,932
純資産合計	5,124,632	5,023,884
負債純資産合計	7,847,242	7,388,552

(2) 四半期損益計算書
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	3,391,511	3,933,959
売上原価	2,508,759	3,040,332
売上総利益	882,752	893,627
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	229,245	235,775
賞与引当金繰入額	16,891	16,900
役員退職慰労引当金繰入額	14,779	10,770
貸倒引当金繰入額	16,900	—
その他の販売費及び一般管理費	469,144	378,457
販売費及び一般管理費合計	746,960	641,903
営業利益	135,791	251,723
営業外収益		
受取利息	5,845	7,187
その他	5,463	4,775
営業外収益合計	11,308	11,963
営業外費用		
支払利息	3,842	4,641
固定資産除却損	990	2,554
その他	1,135	612
営業外費用合計	5,968	7,807
経常利益	141,131	255,879
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	26,858
投資有価証券売却益	—	24,852
特別利益合計	—	51,710
特別損失		
貸倒引当金繰入額	118,080	—
有価証券評価損	100,399	—
特別損失合計	218,480	—
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△77,349	307,589
法人税等	△35,900	127,400
過年度法人税等	9,805	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△51,254	180,189

【第3四半期会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
売上高	1,121,071	1,462,582
売上原価	844,522	1,088,864
売上総利益	276,549	373,717
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	67,203	63,792
賞与引当金繰入額	16,891	16,900
役員退職慰労引当金繰入額	3,866	3,741
その他の販売費及び一般管理費	147,429	126,561
販売費及び一般管理費合計	235,391	210,995
営業利益	41,157	162,722
営業外収益		
受取利息	1,667	2,488
有価証券利息	657	—
その他	282	564
営業外収益合計	2,607	3,053
営業外費用		
支払利息	1,333	1,228
固定資産除却損	—	1,568
その他	767	423
営業外費用合計	2,100	3,220
経常利益	41,664	162,554
特別損失		
貸倒引当金繰入額	5,435	—
有価証券評価損	100,399	—
特別損失合計	105,835	—
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△64,171	162,554
法人税等	△30,200	67,000
過年度法人税等	9,805	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△43,776	95,554

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△77,349	307,589
減価償却費	66,287	69,245
退職給付引当金の増減額(△は減少)	45,925	28,706
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△39,370	△7,214
貸倒引当金の増減額(△は減少)	134,980	△26,858
賞与引当金の増減額(△は減少)	△112,882	△73,514
受注損失引当金の増減額(△は減少)	44,600	30,700
受取利息及び受取配当金	△6,233	△7,502
有価証券利息	△2,059	△962
支払利息	3,842	4,641
固定資産除却損	910	1,188
固定資産売却損益(△は益)	△411	74
有価証券評価損益(△は益)	100,399	—
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△24,852
売上債権の増減額(△は増加)	356,739	819,975
たな卸資産の増減額(△は増加)	△459,005	△427,353
その他の流動資産の増減額(△は増加)	62,793	△3,498
仕入債務の増減額(△は減少)	△992,303	236,354
その他	△93,061	△64,528
小計	△966,197	862,191
利息及び配当金の受取額	5,939	5,871
有価証券利息の受取額	5,155	1,962
利息の支払額	△3,801	△4,763
法人税等の支払額	△633,446	△105,919
法人税等の還付額	—	27,220
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,592,350	786,563
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△85,000
有価証券の取得による支出	△100,400	—
有形固定資産の取得による支出	△89,394	△45,809
有形固定資産の売却による収入	1,130	15
無形固定資産の取得による支出	△3,025	—
有価証券の償還による収入	500,000	—
投資有価証券の売却による収入	—	84,500
預託金の返還による収入	—	2,500
長期前払費用の取得による支出	—	△10,000
その他の収入	222	9,473
投資活動によるキャッシュ・フロー	308,532	△44,321

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	30,000	30,000
短期借入金の返済による支出	△22,500	△15,000
長期借入金の返済による支出	△7,500	△7,500
リース債務の返済による支出	△19,719	△14,790
自己株式の取得による支出	△184	△272
配当金の支払額	△134,368	△67,273
財務活動によるキャッシュ・フロー	△154,272	△74,835
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,438,090	667,406
現金及び現金同等物の期首残高	2,410,446	1,627,303
現金及び現金同等物の四半期末残高	972,355	2,294,709

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第3四半期累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
圧縮機事業	4,346,243	—
繊維機械事業	71,997	—
合計	4,418,241	—

- (注) 1 金額は、販売価格によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第3四半期累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
圧縮機事業	4,728,815	—	2,593,774	—
繊維機械事業	52,403	—	13,578	—
合計	4,781,219	—	2,607,352	—

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第3四半期累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
圧縮機事業	3,858,928	—
繊維機械事業	75,031	—
合計	3,933,959	—

- (注) 1 主な輸出先、輸出販売高及び輸出販売高の総額に対する割合は次のとおりであります。
()内の数値は総販売実績に対する輸出販売高の割合であります。

輸出先	前第3四半期累計期間		当第3四半期累計期間	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
東アジア	366,085	52.4	890,264	78.6
東南アジア	185,756	26.6	119,651	10.6
中近東他	146,569	21.0	122,446	10.8
計	698,412 (20.6%)	100.0	1,132,362 (28.8%)	100.0

- 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。